

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 28 日 (:)
 ~ :)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 4人 | 7人 | 2人 | 人 | 人 |

| 前回の改善計画 |
|--|
| 新規利用者情報は各自利用者ファイルから情報収集するだけでなく、午後のミーティングや朝会などで、ケアマネや管理者、主任が中心に声を出して情報配信する。 利用者によっては、利用にスムーズにつながらない時もあるが、切り口を変えた対応ができるようにするためにもコミュニケーション技法についても学習していく。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| 新規受け入れ時情報は配信され情報が共有され支援に活かされやすくなったが、夜勤等変則勤務のため、不十分と感じることもある。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか? | 7 | 6 | 2 | | 15 |
| ② | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか? | 5 | 9 | 1 | | 15 |
| ③ | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか? | 9 | 6 | | | 15 |
| ④ | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか? | 10 | 4 | 1 | | 15 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|--|------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルからの情報収集でなく、ミーティングや朝会などで情報が共有されている。 ・職員間の日常的な会話から情報共有でき、家族様とのやりとりに活かされている。 ・利用者様の気持ちを聴きながら支援したり、席の配置に配慮するなど不安が少なく利用できるようにしている。 ・送迎時ご家族に様子をお伝えしたり、質問は持ち帰り返事している。 | |

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|-------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用時口頭での周知が不十分。 ・新規や再開時の情報が不足していて不安に思うことがある。 ・ケアプランは家族の意向が強く利用者の希望が不足しているのではと感じることがある。書面だけでなく口頭で申し送り (情報発信) してほしい。 ・午後のミーティングがなくなり、情報共有に不安がある。(管理者やケアマネのところでは情報が止まっていることがある) ・リクライニングの操作や移乗方法等、特徴的な部分は初期に実践を交 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
|--|----------|
| 新規の利用者様の状況や利用者様の変化時などは、午後に短時間のミーティングをし共有していく (目安として14時だが、状況に合わせ時間を決める) | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 28 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 2人 | 9人 | 2人 | 人 | 13人 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | 利用者のできていることを共有し、個々の利用者様の強みを引き出すかかわりが持てるようにする。コアシートを利用し、情報を整理し、利用者様の～したいを知り、支援できるようにする。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | 意思そつうの困難な利用者様のしぐさや表情から本人様の気持ちを紐解き支援するようにしている。利用者様ごとの好みに合わせた歌やドライブなど取り入れているが、作業療法でできている事、できない事の共有が不足で、継続的な支援につながらない場面がある。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか? | 4 | 8 | 3 | | |
| ② | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか? | 5 | 7 | 3 | | |
| ③ | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか? | 11 | 4 | | | |
| ④ | 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか? | 8 | 7 | | | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できている点 | 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 認知症で意思疎通が困難な方の表情やしぐさから本人様の気持ちを紐解き、背景にあるものは何か考えながら支援している。 利用者ができることを引き出し、日課の活動に役立てている。 集団レクはできるだけ全員で参加できる声掛けを支援している。 ‘何か役に立ちたい 気持ちを生かせるように家事作業など一緒にしている。 利用者の好みに合わせた支援ができている (歌、ドライブ、テレビ鑑賞等) | |

| | |
|---|--------------------------------|
| できていない点 | 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ケアプランの把握ができていない 目標が良くわからない。 利用者の～したいの声がかえらない。 コアシートがないからできない。 作業療法 (レクリエーション含め) 利用者個々のできる事、できない事の共有が不足し、できる部分を伸ばす取り組みが不足していると感じる。 在宅生活を支えるご家族様の本音が聞けない。 | |

| | |
|---|-----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200 字以内) |
| 本人様の～したいという自己実現に向けて、本人様の望みを紐解く方法 (スキル) と作業療法の評価の形を整え、できることを伸ばせる支援につなげる。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3年 11月 28日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか? | 5人 | 8人 | 人 | 人 | 人 |

前回の改善計画
 日常的な支援は個々の利用者様に合わせ実施できている。加齢や疾病、薬の影響などの点も観察し、利用者様の体調やADLが維持、または緩やかな低下で済むよう、多方面からの観察の視点を持てるようする。また今後も多職種連携を積極的にしていく(生活機能連携加算での連携についてスタッフ全員で把握していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用者様の状態を多角的な視点で観察支援することで、急激な状態の低下もなく利用継続に繋がっている。重度者でもトイレでの排泄や口から食べることが続けられるように、多職種での連携や情報共有し支援している。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか? | 4 | 8 | 3 | | 15 |
| ② | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか? | 10 | 4 | 1 | | 15 |
| ③ | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか? | 5 | 7 | 3 | | 15 |
| ④ | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか? | 11 | 4 | | | 15 |
| ⑤ | 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか? | 8 | 7 | | | 15 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・変化に気づいたことやご家族からの情報は共有している。
- ・多角的な視点で支援できている。
- ・日常的な支援は、スタッフみんなで声を掛け合って利用者様に合わせて支援できている。
- ・本人の能力を生かし、望む暮らしや本人の能力を奪わないよう支援し、変化に気づくよう個々の関わりを大切にしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・個々に装具類やリクライニング車いすが必要となることがあるが、使用方法についての統一が不十分。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・現状の支援に加え、介護課程の視点で利用者様をとらえることで、必要な支援が何か見極めていく。
- ・自立支援の観点からも装具類などの必要時は、全スタッフが対応できるよう学習会をする。
- ・重度の利用者様の安全な入浴やスタッフの負担軽減できる支援方法について検討、実践していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 28 日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 1人 | 4人 | 7人 | 1人 | 14人 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | 事業所や利用者様の地域で認知症について知る機会を作れるよう、多団体も含め積極的に啓蒙活動ができるように計画、実施していく。 利用者の状況に合わせた社会資源について協議し、必要時連携して支援できるようにする。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | コロナ禍で地域の活動そのものが無かった年であったが、掲示板や回覧板、奉仕作業などで地域と関わりを持つようにしてきた。 地域や他団体への認知症の啓蒙活動もできなかった。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか? | 6 | 6 | 3 | | 15 |
| ② | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか? | 6 | 4 | 3 | 1 | 14 |
| ③ | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか? | 3 | 5 | 5 | 1 | 14 |
| ④ | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか? | 3 | 5 | 4 | 1 | 13 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・町内会での清掃活動に参加したり、日常的な挨拶や短時間の立ち話しなど、意識的に関わるようにしている。 ・散歩しながらのゴミ拾いなども実施。 ・職員間のコミュニケーションからもたくさんの情報が聞けて、利用者様の理解に役立っている。 ・掲示板や回覧板を利用し事業所での様子を伝えるようにしている。 ・独居の方でも妹さんとの関わりを大切に出来るようプランを調整している(行きつけの美容院に行ったりランチを楽しむ機会の確保) ・人生で培ってきた支えたり、支えられたりする関係性を理解し、本人の活動や話しから「今までの暮らし」を知るように努めている。 ・今の生活は病気など身体面に偏らず、ICFの見方に努めている。 ・現登録者にはいないが、必要な利用者がいれば成年後見人制度等もつなげている。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域と連携できる機会がない。 ・事業所にいるときの様子しかわからない利用者様が多い。 ・多団体を含め、積極的な啓蒙活動ができなかった。 ・「ここで(自宅で)暮らしたい」本人の自己実現と事故等のリスクや家族の意向などから、自宅か施設の2者択一に陥ってしまう。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <p>日常的な支援や非常災害時でも利用者様が暮らす地域との関わりが持てるよう、地域の情報を知り支援に活かす。</p> | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成3年11月28日(: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 7人 | 6人 | 1人 | 人 | 14人 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | 日々の業務分担、流れを再確認する(訪問の内容と時間の柔軟性などから、できるだけ、複数が一度に出ることを避けるなど) 認知症ケアの事業所内での学習 他外部研修参加もすすめ その人その人にあったケアを目指す。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | 利用者様の状況や変化に合わせた柔軟な支援はできている。コロナ禍で研修中止もあったが、認知症ケアのオンライン研修を複数名で受け支援にいかされた。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|---|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか? | 3 | 6 | 3 | 2 | 14 |
| ② | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか? | 11 | 4 | | | 15 |
| ③ | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか? | 9 | 5 | 1 | | 14 |
| ④ | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか? | 12 | 3 | | | 15 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日々の細かい情報を共有し、必要時は臨機応変にサービスを変更し支援できている。 ・配食や福祉用具、訪問看護等と情報交換しながら対応できている。 ・利用者様のニーズを見据え、必要な支援のため事業所がもてる機能と地域にある機能を組み合わせて本人やご家族が望む暮らしを支援している。必要な時に必要な事・必要な量で支援している。 ・本人の状態変化時には主治医や家族等と連携して支援している。 ・Webでの認知症に関する研修で、気づきが広がり事業所全体のケアの向上につながった。 ・急な支援の変更は安全欲求や生理的な欲求を優先している。 ・排便コントロールを支援できていることで、利用者の体調の安定や家族介護の負担軽減になっている。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりが少ない。特に利用者の暮らす地域との関わりが少ない。 ・ボランティアの受け入れができない。 ・認知症の理解を深める研修や学習会(研修の伝達の不足) | |

| | |
|---|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報の共有の徹底のため、必要に応じて午後のミーティング開催や、ICT活用により複数名で経過記録できる体制を作る。 ・年間を通しての研修計画を都度確認しながら、伝達研修を実施し、柔軟な支援も継続する(根拠ある支援としてスタッフ間で共有できる) | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 28 日 コロナ 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 5人 | 2人 | 5人 | 2人 | 14人 |

前回の改善計画
ケアマネを中心に多職種と連携でき情報を共有できているが、事業所外での連携にも積極的にかかわる機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍で他団体との連携はできなかったが、主治医や訪問看護、セラピスト、福祉用具事業所とは連携し支援できた。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？ | 6 | 3 | 1 | 5 | 15 |
| ② | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？ | 4 | 1 | 1 | 7 | 13 |
| ③ | 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？ | 5 | | 2 | 4 | 11 |
| ④ | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？ | 1 | | 1 | 13 | 15 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 普段の会話から必要な情報が共有できている。
- ・ 運営推進会議（書面ではあるが）で近況や取り組みを報告している。
- ・ 入退院、受診時医療機関と連携している。
- ・ 訪問看護やセラピストの連携し、支援に活かしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 普段の会話から必要な情報が共有できている。
- ・ 運営推進会議（書面ではあるが）で近況や取り組みを報告している。
- ・ 入退院、受診時医療機関と連携している。
- ・ 訪問看護やセラピストの連携し、支援に活かしている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

今後も感染対策に重点をおいた支援は継続されると思われるが、地域と関わることは重要であり、関わりかたについて検討・計画していく。(利用様が暮らす地域の町内会長や民生委員、避難所等知り関わりをもっていく)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 28 日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか? | 人 | 5人 | 4人 | 4人 | 13人 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | 地域密着型事業所の在り方について職員間で再確認する。運営推進会議に可能な範囲でスタッフも交代で参加したり、会議内容については共有し、現在の事業所の運営に参加していく |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | 小規模多機能事業所として在宅支援を支えることを再確認し、利用者様・スタッフの目線で業務改善のため意見交換しながら支援、運営できている。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|---|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか? | 6 | 3 | 2 | 1 | 12 |
| ② | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか? | 10 | 4 | | | 14 |
| ③ | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか? | 3 | 5 | 3 | 3 | 14 |
| ④ | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか? | 1 | 5 | 4 | 4 | 14 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・苦情等に関しては確認と意見交換し、運営に活かしている (運営に参加している) ・職員はより良い環境づくりに向けた話し合いや提案ができている。 ・虹の箱を玄関先に設置し、だれでも投函できるようにしている。 ・毎月の職場会議で職員から意見を出し、話し合っている。 ・機械浴の入れ替えやテレビの交換で利用者サービスに活かされ、スタッフの業務の負担軽減にもなった。 ・小規模としての柔軟な支援について伝え、状態が変化しても利用が継続できることをご家族にも理解してもらえるよう前向きに説明・支援にしている (利用の継続) | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は書面だけになった。 ・ // 録を回覧としたが周知が不足であった。 ・虹の箱に意見が入らない。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <p>利用様の安定的なご利用が運営につながる事は当たり前で、制度や加算、加算の中での地域との関わり方について学習し、さらに地域の中で必要とされる事業所を目指す。</p> | |

8. 質を向上するための取組み

メンバー 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか? | 3人 | 6人 | 4人 | 人 | 13人 |

前回の改善計画

個々の目標と事業所としての目標をすり合わせ、スキルアップが事業所として質の向上になるように計画していく。

職場会議での学習会以外、年1回以上は事業所外研修や運営推進会議・地域行事などに参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修の中止や人員的な事情から予定通りの研修参加ができなかった。主任の指揮のなか全員で新入職員の指導ができた(OJTの実践ができた)

事故・ヒヤリ報告の検討により、全スタッフがリスクマネジメントする姿勢で取り組みできた。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|-----------------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか | 5 | 8 | | 2 | 15 |
| ② | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 4 | 3 | 3 | 5 | 15 |
| ③ | 地域連絡会に参加していますか | | 1 | 1 | 11 | 14 |
| ④ | リスクマネジメントに取り組んでいますか | 7 | 5 | | 2 | 14 |

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・OJTの実施。
- ・職場会議の学習会や法人学習会に参加できている。
- ・現状にあわせたスキルアップするために個々に声掛けしたり、考える力を身につけられるよう声掛けし、フィードバックができている。
- ・時間的に会議や研修参加が厳しいため、他のスタッフから聞いたり、資料を見て学習している。
- ・事故、ヒヤリハットについて共有し対応策を考え、振り返りも実施して予防に努めている。
- ・普段予測されるリスクに対して、全職員が意識的に取り組むことができている

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修参加
- ・地域活動への参加

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事業所の目標に合わせた個々の目標をすり合わせ、必要な研修に参加できるようにしていく(伝達研修で職場全体としての質の向上とともに、個々の目標も段階的にアップできるようにする)
他項目と合わせ、利用者様毎に必要な支援を実施できる検討と計画・実践をしていく。

| | |
|-------------|---|
| 事業 | 8 メンバー |
| 9、人権・プライバシー | 東野・坂上・古里・鈴木・吉田・深川・見付・坂本・藤森・出町・山田・中山・岡堀・角岸・古川・大坂 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 3人 | 5人 | 3人 | 人 | 11人 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | 学習の継続と日常の振り返りで、スピーチロックをなくする。 OJTを実施し新人を育成できる。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | スピーチロックは減少したが、人員体制などで多忙な時は利用者様の安全を考え使ってしまうことや排泄の共有などで、プライバシーの保護が不十分な時がある。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 身体拘束をしていない | 14 | 1 | | | 15 |
| ② | 虐待は行われていない | 14 | | | | 14 |
| ③ | プライバシーが守られている | 11 | 4 | | | 15 |
| ④ | 必要な方に成年後見制度を活用している | 9 | 1 | | 4 | 15 |
| ⑤ | 適正な個人情報の管理ができている | 12 | 3 | | | 15 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・OJTを実施し育成できている。スキルアップに向け、段階的にアップ出来るよう促し、質の向上に努めている。 ・みんなで声を掛け合い、プライバシーを守りながら支援できていると思う。 ・排泄介助時カーテンや居室の戸を閉めている。 ・定期的に学習会を実施(参加)している。 ・カルテは施錠付きの書庫で保管している。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックは気をつけているが、不意に言ってしまうことがある。 ・排泄状況の申し送りなどスタッフ間のやりとりで、プライバシーにかけていることがある。 ・新人育成について、進捗状況が全スタッフで共有できていない(教育担当だとわかるが…) | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| 毎年の研修参加や職場会議などで、振り返り、スピーチロックを意識的になくす取り組みをする。 | |

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|----------------------|-----|-------|-----------|--|
| 法人名 | 八戸医療生活協同組合 | 代表者 | 中道 博章 | 法人・事業所の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・当法人は地域の人々と共に、医療機関・福祉施設との連携を強め、安心して住み続けられる街づくりを目指しています。 ・当事業所は介護福祉士、看護師を多く配置することで専門職の知識を生かしたケアを提供し、「安全・安心・楽しく」を目指しています。 |
| 事業所名 | 生協小規模多機能ホーム みなみるいけの家 | 管理者 | 大坂 弘子 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 高齢者支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|-----------|-------|-------|-----|-----|
| | 1人 | 2人 | 2人 | 0人 | 1人 | 2人 | 2人 | 3人 | 人 | 13人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|--|--|---|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | 感染予防の徹底の継続と、ご本人・ご家族様の様々な状況に合わせた柔軟な支援を継続していく。感染予防は重要であるが、利用制限は最小限、かつ代替えサービスを調整しながら、在宅生活を支援していきます。 | 感染者を出すことなく過ごす事ができた。感染に対するBPCを作成した。利用者・ご家族様の状況により柔軟なサービス調整による支援ができ、在宅生活が継続できた。情報共有については、変則勤務も考慮し、必要時午後短時間のミーティングの時間を設けることにした。 | 事業所自己評価を全スタッフで取り組み、スタッフ一人一人が自らを振り返っている様子が解ります。医療評価調査一覧からも全国平均より評価が高いことが一目瞭然でした。自由記述のアンケートにこれだけ意見や要望が寄せられるだけ、いいやすい環境なのだと感じます。 | 感染予防を中心に進めながらも、在宅生活継続のための柔軟な支援を継続します。アンケートからのご意見に対し改善策について検討していきたいと思います |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 掲示板での情報配信を継続します。事業所での様子の他、地域からのご意見、運営推進会議の様子なども発信していきます。地域に対してオープンな事業所であることを具現化できるように努めます。 | 掲示板や事業所通信を更新し、年3回回覧板でも紹介させて頂きました。開設して12年が経ち。機械浴や電化製品の買い替えやタブレット導入などで、利用者様の満足度の向上と職員の業務改善につながりました。 | 災害時の避難用通路が確保されていることは大変良いことです。(事業所訪問時の確認できた) 新型コロナウイルス感染予防対策等を入れると生かされると思います。 事業所内を訪問できないため充分把握できません。訪問できるようになればと思います。 | 感染拡大防止のため換気付きエアコンへの交換や簡易陰圧装置の本体を空気清浄機としてきた。コロナ化は継続されると予想されるため、基本対策をしっかりとしながら、対応していきたい。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 町内会の奉仕作業などへの参加を継続するとともに、平時から近隣と交流し、助け合う環境づくりに努めます。 | 可能な範囲で地域の奉仕作業に参加したり、自主的なごみ拾い活動を実施した。散歩しながら近隣の庭を見せて頂きながら交流した。機関誌の手配りなどで、会話の機会を持つように取り組ん | コロナ禍の中、地域との関りは制限されるが、今後の計画を利用者のみなさんと話し合うのはどうでしょう | 地域の中で近隣に声掛けしたり、介護や生活に対する相談が気軽にできる解放日について検討していきます。 |

| | | | | |
|-------------------------|--|---|--|--|
| | | でいる。 | | |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 利用者の暮らす地域の行事に参加できるような取組みを実施していきたい。 | 移動販売車の事業所での利用予定をしていたが、コロナ感染拡大で見合わせしている。 地域とのつながりも行動が制限された中で実践できなかった。 | 利用者様の近隣の方から在宅時の様子を聞いたり、民生委員の方に利用者様のごみ捨て場について、近い位置を使っても良いなど声掛け頂いた。 | 利用者様が地域の催し物などに参加できるよう関わったり、支援しやすい関係づくりができるよう、地域に働きかけていきます。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | 運営推進会議に地域の方にも参加して頂く、 (地域との関係性を深める) | 感染対策も考え、全会書面開催となった。活動報告や報告書はスタッフにも回覧できるようにしたが、周知が不足であった。 | 書面でも日常の様子は伝わりますが、参集できるのであれば、他団体や総合病院からの参加も声かけし、地域の医療（在宅診療）などテーマを決めて懇談することも良いのではないかと？ | コロナ禍でも参集できることを検討したり、頂いたご意見は実践可能な点について全体で検討、実践していく。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | 防災の種類ごとの対応を繰り返し訓練し習得します。 地域の防災に関する課題も知り、地域と共に防災の取組みをしていきます。 | 感染・災害に対する事業継続計画（BPC）を策定した。 家事、風水害に対する非難訓練は実施できた。 | 大地震、大津波が起こった時の避難場所、避難方法は大丈夫でしょうか？ | BPCを見直ししながら、実践に生かしていく。法人内及び地域の防災対策も把握し、災害対策をしていきます。 |